

自動車部全体会議報告

2016年自動車部要求事項が手渡された！

二〇一六年十二月九日(金)天神川三階大会議室で行われた全体会議では、山本保自動車部長をはじめとした自動車部執行員、中央委員が出席し自動車部組合員の切実な思いが込められた自動車部要求事項の提出を行った。会議では、山本部長が「当局が示す、あらゆる手を形として、我々の手に乗る物で返して欲しい」と挨拶があり、加藤議自動車部長に自動車部要求事項が手渡された。自動車部要求事項には一、賃金・処遇改善から十二項目と職場の改善を主とし、た支を主とし、部要求記載されており、読み上げ各項目について説明がされた。当局は「内容を精査し誠意を持って回答します」とし、山本部長が「安全に繋がる投資を惜しまず行うように強く要望する。また組合員のモチベーションの向上に繋がる回答を期待する」として全体会議が終了した。



山本自動車部長から加藤議長に要求書が手渡された

16「もんじゅ」を廃炉に～全国集会～

この運動が、結実する日が近づいています。

この絶好のチャンスを実現すべく、運動をより強く、より広く！

「もんじゅを廃炉へ！全国集会」が十二月三日(土)に、福島県郡山市の白木海岸及びプラザ万象で開催され全国から八〇〇人を超える参加者が集結しました。京交からは平和フォーラム事務局次長の伴野副委員長と青年女性委員会より安田委員長、草川幹事(自治労女性部長)の三人が参加し、「もんじゅ廃炉」を訴えました。夢のエネルギーとして一兆円あまりをかけて作られた、「高速増殖炉もんじゅ」。一九九四年五月に臨界に達し八月に発電を開始、その僅か四か月後にナトリウム漏れ爆発事故を起こし停止しました。事故から二十二年が過ぎても一度も運転されておらず、現在も年間二〇〇億円もの維持管理費がかかっています。それでも安倍政権は、「研究炉へ」とか「機構を改革して」など「延命」に躍りとなっています。今、政府は「高速炉開発会議」で新しい高速炉の開発方針を検討しています。集会では「政府は核燃料サイクルの推進を掲げているが、もんじゅで出来なかったことを、形を変えて進めようとしても出来るわけがない」と訴えました。プラザ万象で開かれた集会では菅直人元総理大臣が講演をし、「自然の太陽光、風、植物から発生するエネルギーで必要な電力を全てまかなうこと



・・・デモの様子・・・

は、もう夢ではない現実の問題になりつつあり、日本の取るべき道は再生可能エネルギーで、全てのエネルギーをまかなうこと、この道に力を注ぐべきだ。もんじゅがなくてもエネルギーの自給ができる社会が現実になっている」と呼びかけました。私たちは、全原発の廃炉を実現するまで原発の犠牲を強いられ続けている福島をはじめ、全ての人々と連帯して共に戦い脱原発に勝利しなければなりません。集会の締めくくりでは、「原発反対」、「人の命を守れ」、「自然エネルギーの活用を」など、シュプレヒコールをあげながら市街地をデモ行進し大会が終了しました。今回の集会に参加して、原発問題や戦争法、そしてTPPやIRR法など、またもな論議もせず強行採決をする安倍政権の暴走を止めるため、我々の運動をより強く、広く推し進めていかなければならないと感じるとともに、憤りを覚え帰路に着きました。



講演をされた菅直人元首相

自治労京都府本部女性部・青年部の「8の日行動」報告

草川女性部長がはじめて運動に参加！

二〇一六年十二月八日(木)十八時三〇分から四条河原町交差点で自治労京都府本部女性部・青年部の「8の日行動」が開催され、京交からは三人が参加してきました。「8の日行動」とは、再び悲惨な戦争を繰り返さないために、女性の反戦・平和をめざす運動の中から、太平洋戦争の日本開戦の日が一九四一年十二月八日であることから「十二月八日を忘れない」を合言葉につくられました。女性部の役員による街頭演説も行われ、それ以外に参加者は、反戦を訴えながら、用意されたティッシュを配布し、「8の日行動」は終了しました。



ティッシュ配りの様子



初街頭行動を行った草川女性部長

第50回 自治労京都府本部青年部定期大会報告

向こう1年間の運動方針が確認された！

二〇一六年十一月二十三日(水)こどもみらい館で京交から六人が参加し開催された青年部定期大会は、主催者に玉口青年部長(京都市職)が「今大会で向こう一年間の運動方針が決定されます。皆さんの活発な議論をお願い致します」と挨拶があり、来賓では府本部から植田副執行委員長が出席されました。大会では平和運動をはじめとした二〇一六年度活動報告を執行部が行い参加代議員で確認を行いました。議案では府本部



～大会参加した代議員～

部青年部の活動を継続し、さらに発展させることをめざすとした二〇一七年度活動方針案が提案され、第二号議案では二〇一七年度役員選出が提案されました。全ての議案が承認され、新役員として新たに上辻青年部長(宇治田原町職)の選出がされ、京交からは安田書記次長(京交青年女性委員長)が選出されました。最後に大会スローガンが読み上げられ拍手で確認がされ、大会を締めくくりガンバロー三唱が行われ閉会されました。今後も自治労京都府本部青年部の活動にご協力をお願い致します。



書記次長に選出された安田京交青年女性委員長

⑩	ン	ト	ウ	イ	リ	グ	ラ
イ	コ	ウ	バ	ン	○	フ	セ
ウ	○	ン	○	オ	フ	セ	イ
ト	ン	ク	レ	イ	○	ス	○
ウ	○	ク	レ	イ	○	ス	○
デ	イ	○	ン	○	フ	セ	イ
イ	○	ン	○	オ	フ	セ	イ

■答えは「ライフセーバー」

当選者氏名(敬称略)
岡澤 恭子(烏丸線乗務支部)
樋口 誠志(烏丸線乗務支部)
小嶋 克人(東西線乗務支部)

クロスワードパズル
京交720号解答

5	3	1	7	2	9	4	8	6
9	6	2	4	1	8	5	7	3
7	4	8	5	3	6	1	9	2
1	2	5	8	7	4	3	6	9
4	9	6	3	5	2	7	1	8
3	8	7	9	6	1	2	5	4
8	1	3	2	9	7	6	4	5
2	7	9	6	4	5	8	3	1
6	5	4	1	8	3	9	2	7

当選者氏名(敬称略)
大谷 康幸(東西線乗務支部)
大村 有輝(烏丸線乗務支部)
青野 泰三(本局支部)

ナンプレ
京交718号解答

自動車・電車・本局が自転車マナーアップを訴えポケットティッシュを配りました！

今回は烏丸支部より長岡宏幸さんを紹介したいと思います。実は知る人ぞ知る釣り名人です。一重に釣りと云っても堤防からのサビキ釣り、砂浜の投げ釣り、磯での浮き釣り、船釣り、川や湖のルアー釣り等色々な種類ややり方があります。実は何でも釣る名人で何処にでも何でも釣りに行くそうです。最近では、船からの釣りがメインでこの時期（九月から十二月）はアオリイカ、根魚に真鯛に青物、タチウオ等を釣りに仲間で行くそうです。中でもタチウオは引きも強く非常に面白いそうです。名人ともなると仕掛けに海の形状やハリスのサイズ、餌を微妙に変えてゆき、当たりを探りながら釣ると言うとても高度な技で釣り上げます。道具も一流でお金が掛かっていますが、そこは名人として妥協が来ないところです。仲間からは腕は確かで頼りになると色んなメンバーから良く誘われるそうです。やはり広大な海に竿を垂れるだけでもストレス発散に繋がりが心も寛大になり何をいっても明日から仕事も頑張れると言う事です。注意事項として、釣りは一人で行かない事とライフジャケットは必ず着用し安全には万全で行く事。汚れても良い服装で、針には十分気をつけて、投げる時には後ろをを確認する事。触ってはいけない魚（ゴンズイ、アイゴ、ハオコゼ、ミノカサゴ等）を見極め、最後に充分な睡眠をとる事だそうです。最後にもう一つご本人から釣りの思った通りに釣れたらすごく嬉しく思った経験がある釣り人も多いのではないのでしょうか。釣れない時こそ人それぞれの引き出しの多さが物を言うような気がします」との事。趣味を通していろいろな営業所のいろいろな年代の方々と一緒にさせて頂き、釣りをしている良かったと思っておられるそうです。



～大物鯛をゲット～



～大物ブラックバス～



～巨大アオリイカ！～